

トーホー工業はいつも「新しい何か」を提案します。

EPS **ユニーク**パレットシリーズ 総合パンフレット

EPSは発泡スチロール(**E**xpanded **P**oly-**S**tyrene)の略称です。



発泡スチロールは省プラスチック製品！
「空気」をカタチにする技術が、世の中を変えます。



発泡スチロールのパイオニア・カンパニー

トーホー工業株式会社

TOHO INDUSTRIES CO.,LTD.

トーホー工業

検索

www.toho-eps.com

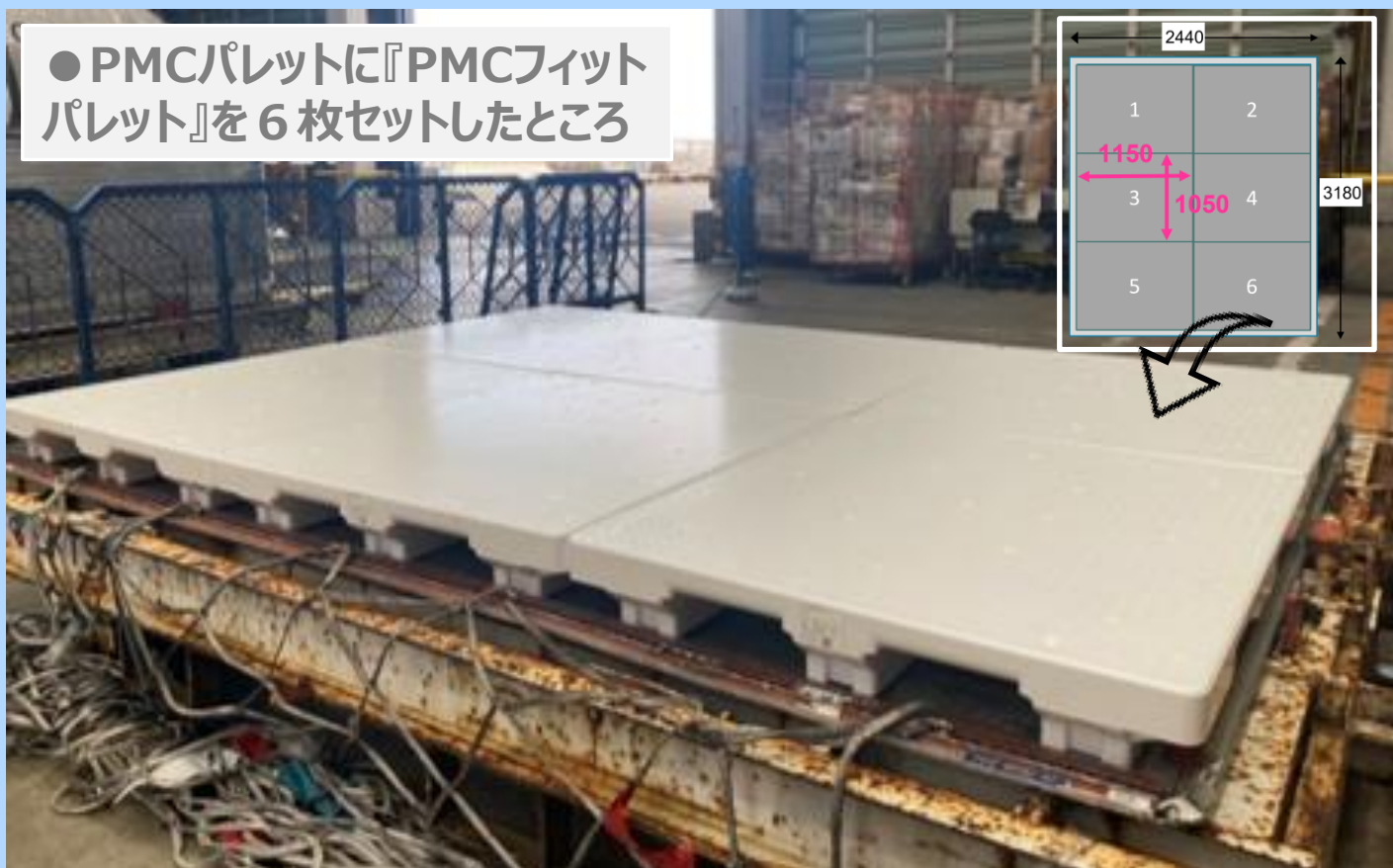
ご注文から納品まで全国エリアでご対応いたします。

航空貨物仕様「PMCフィットパレット」

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

「すき間がもったいない!」業界の“仕方ない”を解決。
『PMCパレット』専用の**ユニーク設計**のパレットです。

●PMCパレットに『PMCフィットパレット』を6枚セットしたところ



<PMCパレット>

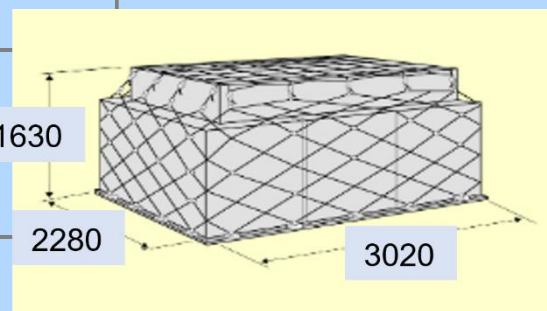


PMCフィットパレット(表)



PMCフィットパレット(裏)

<1>サイズ	1150mm×1050mm×H155mm (1枚) ※6枚セット平面サイズ=PMCパレット平面サイズ(3020mm×2280mm)
<2>重量	約1.7kg/1枚(発泡倍率60倍品) ※6枚セット合計 約10kg(従来パレットの1/5程度)
<3>耐荷重	PMCフィットパレット1枚当たり(PMCパレット総荷重は6倍) 動荷重▶438kg(発泡倍率60倍品) 静荷重▶1,592kg ※日通総研(株)による、性能算出方法に準ずる
<4>積載面積	7.245㎡(従来方法より、5.2%向上) ※右図解のPMCパレットから算出
<5>積載高さ	1,475mm(従来方法より、11.3%向上) ※従来の樹脂パレット(通称プラパレ)高さを参照



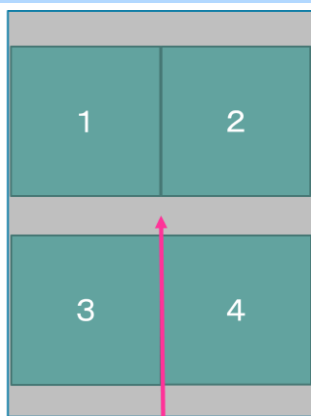
「PMCフィットパレット」の開発背景

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

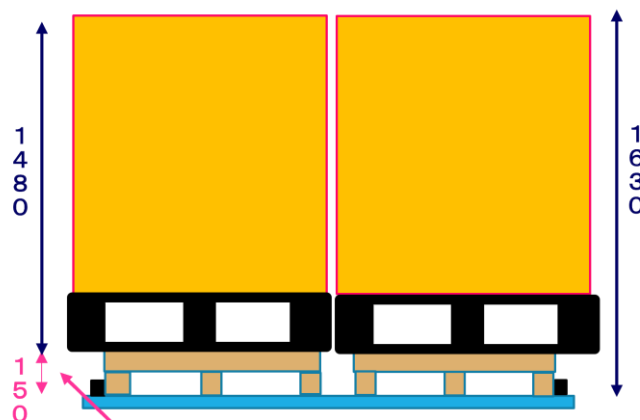
➤従来型パレットの積み付け方法の課題



スキッド



すき間材をセットする「資材と作業」が必要



スキッドの高さ分のロスが発生

課題<1> サイズの合わないパレットを使用しているため、PMCパレット上にすき間が生じ、

それを埋めるための①資材と②作業が発生する

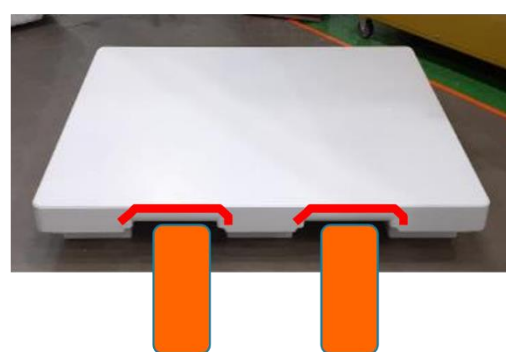
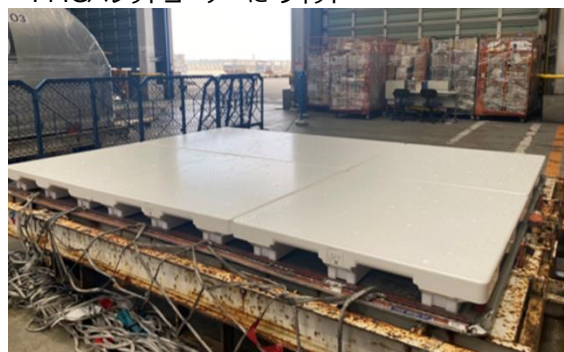
課題<2> スキッドで高上げるため、そのスキッドの自重と高さ分の体積で貨物としてロスが生じる

➤「PMCフィットパレット」 “6つ”の特長

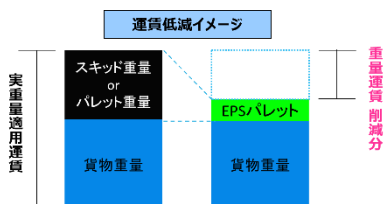
【1】EPSの成型性を活かした設計

①EPSパレット脚部が
PMCパレットコーナーに“フィット”②PMCパレットのエッジ部にローブが
“フィット”しやすい形状で応力を分散

③フォークリフト作業時の視認性確保



【2】軽い



【3】クッション性がある

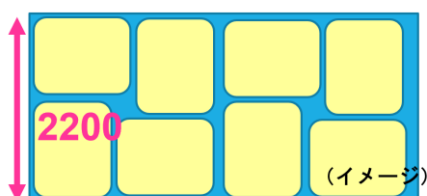


【4】断熱性



【5】トラックの荷台にもジャストフィット

【6】湿気や水濡れに強い



●カスタマイズのご提案●

➤用途に合わせた設計

➤サイズ ➤倍率

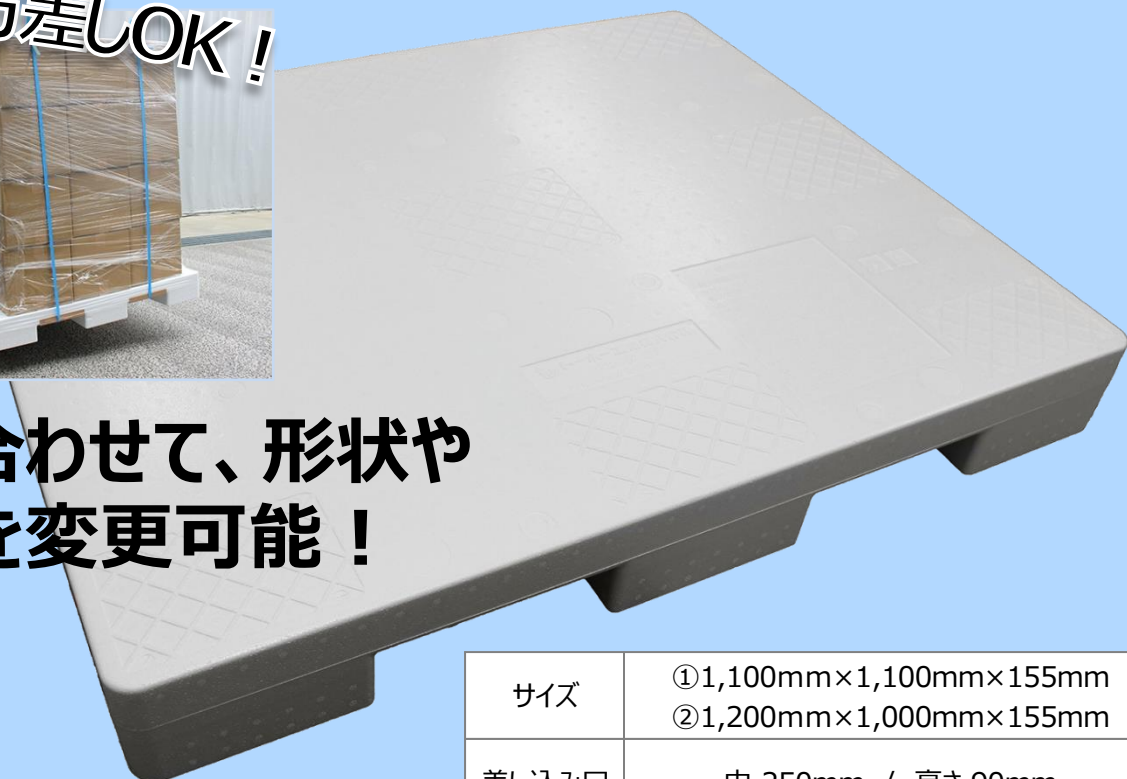
EPSパレット(フォークリフト対応タイプ)

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

青果輸出用のパレットとして活用
パレットの軽量化で輸送コスト削減



用途に合わせて、形状や
耐荷重を変更可能！



サイズ	①1,100mm×1,100mm×155mm ②1,200mm×1,000mm×155mm
差し込み口	巾 250mm / 高さ 90mm

●EPSパレットの裏側



●EPSパレットの金型～金型は内製で、設計から製作まで手掛けています。



<EPSパレットの特長>

- 軽量だから、航空便などの輸送コストの削減が可能！
- 燻蒸処理が不要。航空便にそのまま使用OK！
- 水濡れや湿気に強く、冷蔵庫や冷凍庫でも使用OK！
- 手で移動できるから、取り扱いが安全で楽ちん！
- EPS特有の緩衝性で、積荷を守ります！

自重約1.7kg!



04

導入事例

EPSパレット(フォークリフト対応タイプ)

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

1. 青果専用輸出用パレット (大阪中央市場にて)



2. 小型飛行機専用パレット (静岡空港にて)



3. 保冷機能をさらにプラスして (福岡中央市場にて)



● カスタマイズのご提案 ●

➢ サイズ ➢ 倍率(30~60倍) ➢ カラー ➢ 強度(Eボード付)

EPSパレット(床置きタイプ)

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

レイアウト変更が簡単！



GOOD PACKAGING

日本包装技術協会主催
「2015 日本パッケージングコンテスト
包装部門「輸送包装部門賞」入賞

用途に合わせて、形状や
耐荷重を変更可能！

サイズ

1,100mm×1,100mm×90mm

＜EPSパレットの特長＞

➤ 手で持てる軽さ(約1.3kg)だから、取り扱いがカンタンです。

レイアウト変更もとても簡単です。

➤ 移動がカンタンだから、清掃もグッとラクになります。女性の多い職場に最適です。

➤ 水濡れや湿気に強く、清潔に保てます。
冷蔵庫や冷凍庫での使用もOKです。

➤ EPS特有の緩衝性で、積荷を守ります！



06

導入事例

EPSパレット(床置きタイプ)

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

1.製品の保管用として（北海道函館市内にて）



2.市場でセリ用として（福井県越前漁港）



3.避難場所の防寒対策として（北海道森町役場）



●カスタマイズのご提案●

➤サイズ ➤倍率(30~60倍) ➤カラー

EPS「スマートクーリングコンテナ」

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

- 常温のコンテナ内にあつという間に保冷コーナーを設置
- 冷蔵のコンテナ内にあつという間に常温コーナーを設置

GOOD PACKAGING 2020 日本パッケージングコンテスト
包装部門「輸送包装部門賞」受賞



- < 1 > 総重量は、7kg
- < 2 > 省プラスチックだから
ECO !
- < 3 > 組み立ては工具いらず、
手で簡単に組立て可能



- 天面に保冷剤をセットできます。



<EPSスマートクーリングコンテナの特長>

- トラックの荷台や5 t コンテナなどの常温のコンテナ内の一部に保冷コーナーを簡単に設置できます。
- 組み立て式だから、使用しないときはコンパクトに保管できます。

08

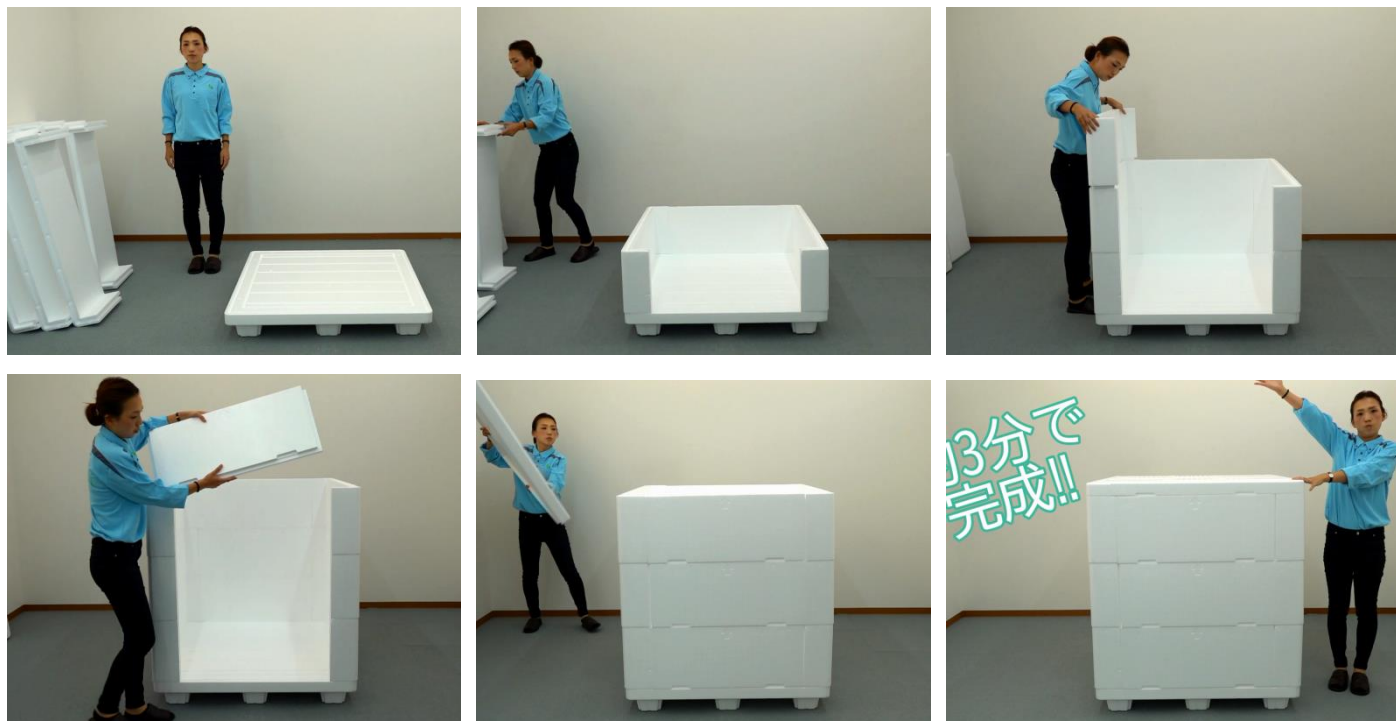
製品情報

EPS「スマートクーリングコンテナ」

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

- 「スマートクーリングコンテナ」は組み立て式
- コンテナの大きさは、3段階！

<組立ての流れ>



<サイズバリエーション>



EPS「スマートクーリングコンテナ」

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

➤ 注目の輸送資材として注目されています。

2020年02月07日(金)

※富山県内のニュースです。

- 異なる温度帯の混載用コンテナとして
農産物の輸送実験に協力しています。



2020年02月07日(金)

※富山県内のニュースです。



2020年02月07日(金)

※富山県内のニュースです。



2020年02月07日(金)

※富山県内のニュースです。



2020年02月07日(金)

※富山県内のニュースです。



●富山チューリップニュースより(2020年2月7日)

EPS「スマートクーリングコンテナ」

EPSは発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

●北日本新聞(2020年2月8日)

国交省
北陸の農産物輸出促進
ベトナムへ 伏木富山港活性化狙う
輸送実験

北陸地方の農林水産物の輸出促進のため、国土交通省は小口の冷凍・冷蔵品を一つのコンテナにまとめて

伏木富山港からベトナムに運ぶ輸送実験を実施する。品質の保持や通関手続きのスムーズさを検証した上で、利便性をアピールして同港の活性化を目指す。7日は富山市内の冷凍・冷蔵施設で、コンテナへの積み込み作業を行った。

北陸地方の農林水産物は、太平洋側の港で全国から集荷されたものと一緒に輸出されるケースが多い。実験には、非効率な輸送体制を解消するほか、工業製品主体の伏木富山港の取り扱い貨物の多様化を図る狙いがある。

今回は高岡市の商社「山文」と協力し、シロエビの真空冷凍や、日本酒、みそ、ゼリーなど富山、新潟県産で製造された7商品計351kgをベトナム・ハノイのスーパーに送る。

内部温度を一定に保つコンテナを使用。梱包資材を

コンテナに積み込まれる冷凍・冷蔵食品—富山市西二俣

●富山新聞(2020年2月8日)

輸出促進へ輸送実験
北陸の農林水産物 冷蔵、冷凍混載へ

北陸地方整備局は、北陸の農林水産物や食品の輸出促進に向け、冷凍品と冷蔵品を同じコンテナで輸送する実験に乗り出した。事業者が低コストで輸出できる

北陸地方整備局は、北陸の農林水産物や食品の輸出促進に向け、冷凍品と冷蔵品を同じコンテナで輸送する実験に乗り出した。事業者が低コストで輸出できる

よつにする。7日は富山市の倉庫で積み込み作業が公開された。

同局によると、北陸の農林水産物はコンテナを満たすほどの輸送量を確保できない場合が多く、太平洋側の港から他地域の貨物と一緒に輸出している。

冷凍品と冷蔵品が混載可能になれば、十分な量を確保

地方整備局

扱うアイザック(魚津市やトロー工業(大阪市)が協力し、コンテナ内で冷凍品と冷蔵品を混載できるように梱包方法を工夫した。この日は高岡冷蔵富山工場(富山市西二俣)でコンテナへの積み込みを行い、関係者約20人が作業を見守った。

同省北陸地方整備局の武田均クルーズ振興・港湾物流企画室長は「生産地に近い港からの輸出促進につなげたい」と述べ、山文の松村光祥社長は「小口でも輸出が容易になれば、東南アジアという大きなマーケットの開拓につながる」と話した。

コンテナは10日に伏木富山港を出発し、韓国経由で23日にベトナム・ハイフォン港に着く予定。同省はコンテナ内に湿度や温度、揺れを測る記録計を設置し、コンテナ管理の状況を把握する。通関手続きが順調に進むかなども調べ、事業化が可能かどうかを検証する。



コンテナに積み込まれる冷蔵品—富山市内の倉庫

保し、北陸から直接出荷できるようにになり、事業者のコスト削減につながる。

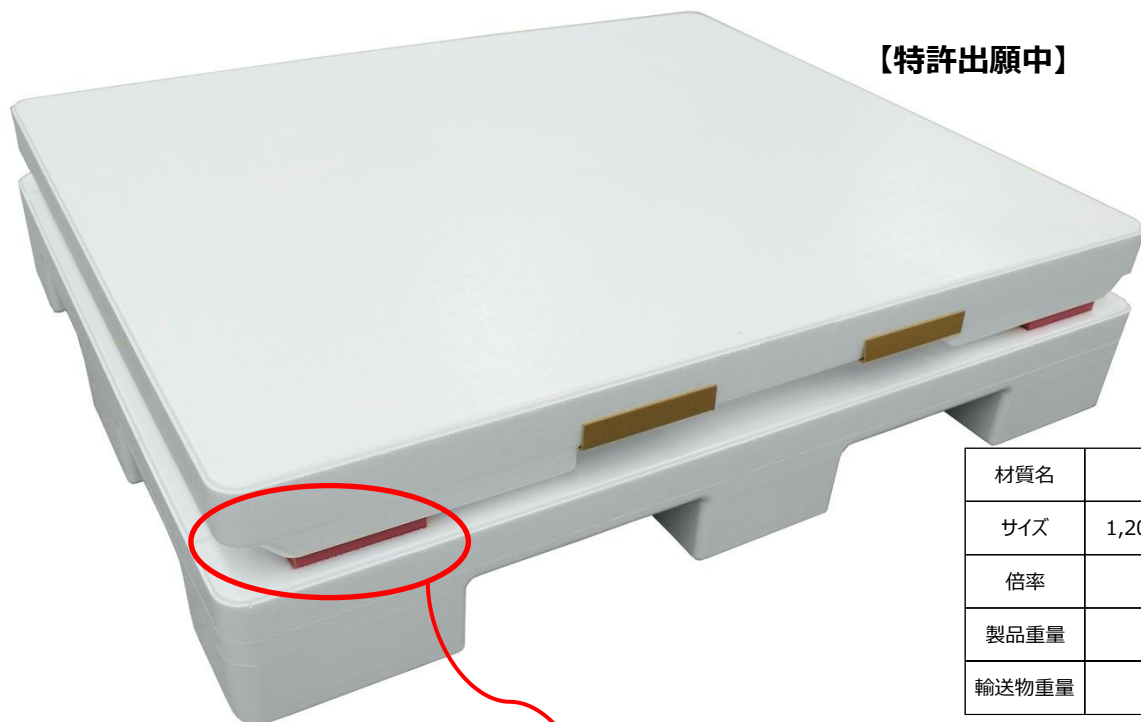
同日は富山市の高岡冷蔵富山工場で、作業員が冷凍シロエビなど7品を氷点下18度のコンテナに積み込んだ。日本酒やみそ、ゼリーといった冷蔵品は凍結を防ぐため、特殊な発泡スチロールや段ボールで包装された。10日に伏木富山港を出発し、ベトナムのハイフォン港に23日に到着後、ハノイ市内の商店に輸送される。

EPSクッションパレ（軽量防振パレット）

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

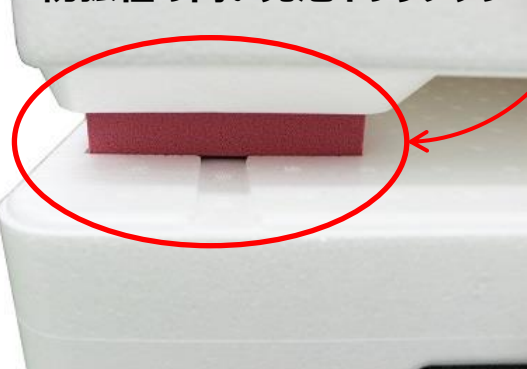
■ 精密機械や美術品の運搬用「軽量防振パレット」

【特許出願中】



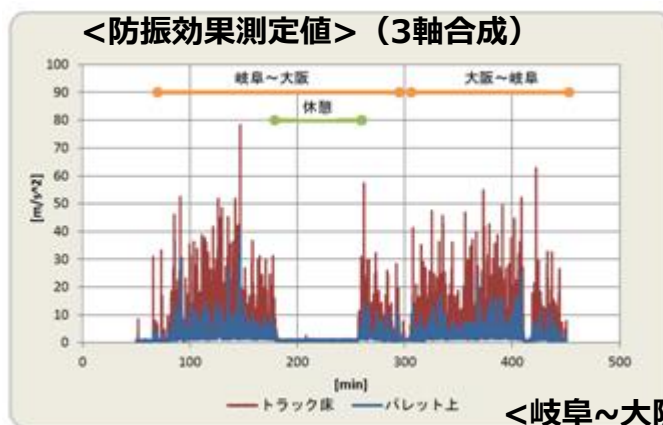
材質名	EPS+発泡ポリウレタン
サイズ	1,200mm×1,000mm×264mm
倍率	(上) 20倍、(下) 30倍
製品重量	約9kg
輸送物重量	約500kg

● 防振性の高い発泡ポリウレタン



● パレタイズイメージ

● 実証実験データ ※トラック床振動の66%をクッションパレが吸収



EPSパレットお取り扱いマニュアル

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

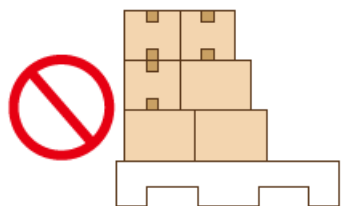
1.発泡スチロールの特徴

【良いところ】とても軽く、断熱性、緩衝性、耐水性に優れている

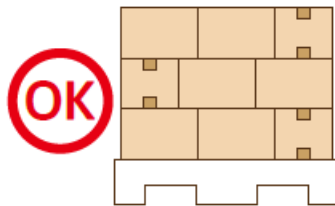
【注意する事】手荒に扱うと、凹んだり、破損したりする

2.EPSパレットの正しい使い方

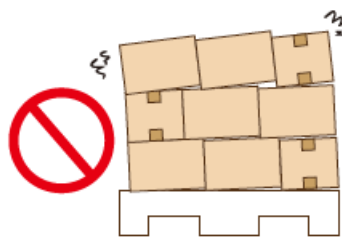
【梱包方法】



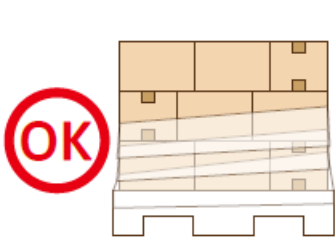
荷物を均等に載せないでリフトアップ時にパレットが横転したり、破損の原因となります。



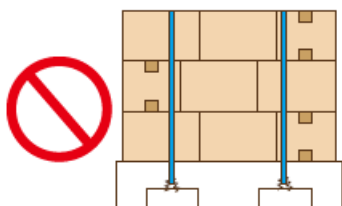
荷物はパレットの一面に均等に載せてください。



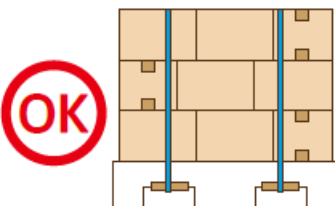
ストレッチフィルムを巻かないと、運搬時の揺れが大きくなったり、荷崩れを起こします。



ストレッチフィルムは、一番下の荷物から上に向かって巻いてください。

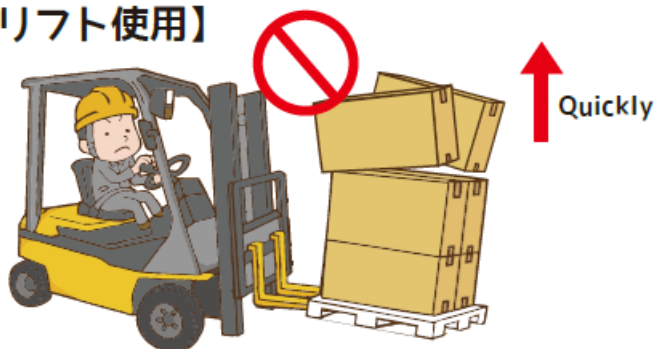


角当てをせず PP バンドで固定すると、くい込みによりパレットが破損します。

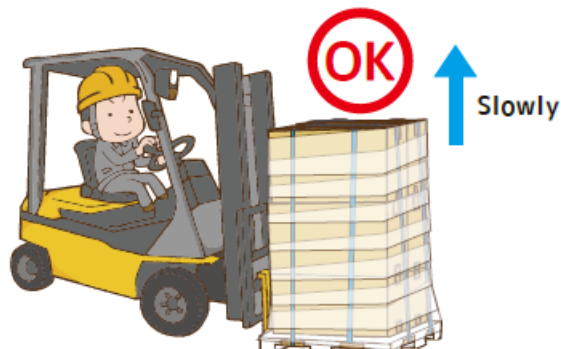


PP バンドなどで固定する場合は、くい込み防止のため角当てを使用してください。

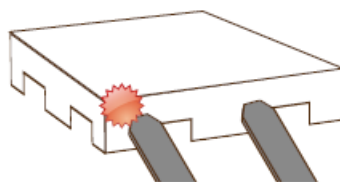
【リフト使用】



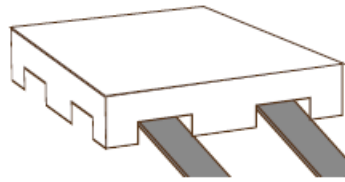
- ・ つめを途中まで入れてリフトアップすると破損します。
- ・ 引きずるとパレットの足や裏面が削れてしまいます。
- ・ 急激なリフトアップ作業は、破損や荷崩れに繋がります。



- ・ つめはパレットの奥までしっかり差し込んでください。
- ・ リフトアップ作業は、ゆっくり行ってください。



つめをぶつけると、パレットが破損します。



つめは差し込み口以外に触れないように注意してください。

3.その他の注意事項～火気厳禁 ・パレットの上に乗らない パレットの切断や加工はおやめください。

EPSパレットと容器を併用した輸送、他

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

●EPSパレット+ボトルクッションケース



『EPSボトルクッションケース』
日本酒の瓶が12本入ります。



『EPSパレット』をハンドリフトで
移動させます。強度に問題はありません。

●EPSハーフスペースBOX



【1】『EPSハーフスペースBOX』の四面にインクジェット印刷を施し、従来の樹脂コンテナに比較すると、商品名がくっきりと目立ちます。【2】出荷検査後、4段ずつPPバンドで結束します。【3】パレット積み（4段×4束）して、トラックに積み込みします。

EPSパレットの他、様々な製品をご提供

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

● 組み立て式容器 <ヒンジBOX>



● ユニーク容器シリーズ



● 農産向け容器シリーズ



● 長時間輸送用容器 <錦鯉専用容器「B'koi」>



私達の取組みが幅広く取り上げられました。

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

■毎日新聞 2019年2月5日(火)朝刊掲載

岡 静岡 2019年(平成31年)2月5日(火) 毎 日 新

県産イチゴ傷めるな！

発泡スチロールの荷台開発

静岡空港を利用した県産イチゴの香港への輸出拡大につなげようと、県では1月から長距離輸送に伴う品質ダメージを防ぐために、発泡スチロールを荷台として敷いて空輸する試みをしてい

今年5月が中国の春節にあたり、2月はイチゴの出荷量が増える時期。県マーケティング課は「品質を保ち、販路拡大につなげたい」として、香港に輸出しているのは県が開発した「紅ほっぺ」と「きらび香」。静岡空港から沖繩を経由して現地に届け、1パック約1200〜1400円で販売されている。同課によると、静岡空港から航空便を利用した香港へのイチゴ輸出は2011年度からしており、11年度は1276パックだったが、17年度は2万3292パックと約18倍に増えた。

ただ、課題は長距離輸送に伴う振動や衝撃。JA静岡経済連によると、暖かくなる3月ごろからは鮮度の維持が難しくなるため、より慎重な輸送が必要だが、従来は静岡空港で使われる小型旅客機に合った荷台がなく、段ボールのま

そこで、JAが昨年、県の補助金を受けて、発泡スチロール製造会社の「トーヨー工業(本社・大阪府)」に荷台の製作を依頼。同社が、静岡空港で使用する旅客機の大きさに合わせ、小さく軽い発泡スチロールの荷台を開発した。1月からイチゴを詰めた段ボールの下に置くなどして空輸しているが、今のところ好評だという。

JA静岡経済連輸出推進課の望月洋平係長は「12〜2月はギフトなどで国内販売が多くなる傾向がある。3月以降に海外での販売を増やし、価格を支えたい」。県マーケティング課の長倉伸二郎主査は「香港では韓国や他県もイチゴの販売を進めている激戦区。品質を保ち、県のPRにつなげたい」としている。

【松岡大地】

発泡スチロールを敷いて空輸される県産のイチゴ。静岡空港で



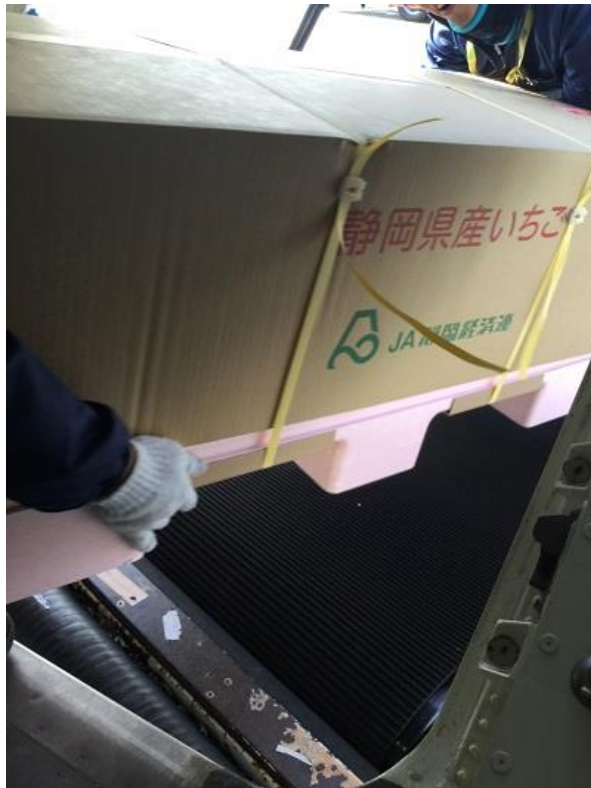
EPSユニークパレット『737 フィットパレット』 小型旅客機専用タイプの開発

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

■ 静岡空港での『EPSパレット』を使用した積み込み作業の様子



地方空港で最も利用されている
ボーイング社737機



パレットに載せられたことで、作業者の方の
作業負荷も格段に軽減



小型旅客機の貨物室にピッタリ
収まる「カスタマイズパレット」



いちごのイメージを大切にした、ピンク色の
オリジナルカラーパレットです。

私達の取組みが幅広く取り上げられました。

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

平成時代
静岡空港

近くに空路 商機広がる

静岡空港は静岡と世界の距離を縮め、国内各地との交通を促進し、2017年から静岡空港を唯一、1日4往復して岡山と結ぶ「静岡岡山線」を開設し、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。静岡空港は、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。静岡空港は、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。



ANA cargo plane loading

年明けに本格化するイチゴ輸出に向けた積み込みのチェック作業（静岡空港で）

輸出入 手間と時間省く

静岡空港は、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。静岡空港は、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。静岡空港は、岡山・静岡間の航空輸送が活性化している。

当社のロゴマークが入った「EPSパレット」

しごと場たんけん

日本の市場

青果市場・花き市場

協力：東京都中央卸売市場



Market stall with produce

日本産の果物はアジアへ人気
仲卸業者が、ブドウやモモ、メロンなどの果物を、日本産の国へ輸出することもあります。午前中に空港に運ばれた果物は、その日のうちに各都府県に到着し、翌日には地域の百貨店などに並びます。日本産の果物は味が安定しているうえに安全なので人気が高く、海外で高値で売られます。

7月10日第3種郵便物認可 紀伊民報 2019年(平成31年)3月29日 金曜

ミツバチ用 梅使用の飼料や巣箱開発

農業遺産 フォーラム 高橋准教授(京都)が発表

ニホンミツバチの研究をする京都産業大学総合生命科学部の高橋純一准教授(44)は27日、みなべ町であった世界農業遺産のフォーラムで、梅を使ったミツバチ用の飼料のほか、保温効果があるミツバチの巣箱を開発したことを発表した。国内の会社が商品として発売する。

京都産業大学は、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会から委託を受け、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅シスター」での豊かな生物多様性の観点からニホンミツバチの研究の一環として、梅の栽培が盛んな台湾で2017年から、梅と養蜂の調査をしており、活動の中で、ミツバチにやる餌である砂糖漿の代わりに、開花シーズンの2月、気温が低ければミツバチはあまり飛ばず、受粉に影響する。巣箱内の温度と湿度を最良な状況に保つことでミツバチの寒さによるダメージが減り、効果があるのだという。そこで、台湾の養蜂家と共

同で、梅から抗菌作用のある成分を抽出して作った錠剤を、ミツバチ用混合飼料「完全梅肉丸」として近く、京都市の商社「ワタ・トレーディング」から発売されるといふ。

保温効果のある巣箱は、冬の寒さ対策で開発した。梅の受粉にはミツバチが欠かせないが、開花シーズンの2月、気温が低ければミツバチはあまり飛ばず、受粉に影響する。巣箱内の温度と湿度を最良な状況に保つことでミツバチの寒さによるダメージが減り、効果があるのだという。そこで、台湾の養蜂家と共



Professor Takahashi speaking

ミツバチの研究で講演する京都産業大学の高橋純一准教授(27日、みなべ町山内で)

発泡スチロールを使った商品で、大阪市の発泡スチロール製造会社「トホー工業」と共同で開発した。9月に発売予定。

神島高が活動報告

フォーラムは、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会主催で、「U・M産業の保全と継承を考える」をテーマに開かれた。梅農家や加工業者、製菓業者、行政の関係者ら約150人が参加した。

高橋准教授の講演に続いて、「梅産業を未来に継承するために」をテーマに活動する和歌山信愛高校と神島高校の生徒が、これまでの活動内容を報告。その後、6班に分かれ、参加者と意見交換会もした。意見交換では、高校生から、生産者の見える工夫と



琉球新報WebNews購読会員なら

追加料金 ¥0 で THE WALL STREET JOURNAL. が読める



English お知らせ 各種サービス

琉球新報

Web News

トップ 写真・動画 特集 社説・コラム 人事・訃報 イベント 今日のニュース

主要 政治 経済 社会 国際 スポーツ 地域 暮らし 芸能

経済

敷板軽量化で輸送費減へ 県貿易協・琉海・OAS 発泡樹脂製、保冷・強度優れ

2019年6月22日 05:00

貨物 輸送 貿易

いいね! 0

シェア

B! 0

ツイート

共有する

航空貨物を輸送する際の重量軽減を図るため、沖縄県貿易協会（新垣旬子会長）が発泡スチロール製のパレット（敷板）を導入している。従来のプラスチック製品より軽量で、平均3～4%の輸送コスト削減につながる。保冷の効果もあり、生鮮食品の輸出などで品質の保持力が高まる。400～500キロの重量まで耐えられるなど、十分な強度もあるという。

貨物輸送に使うパレットは110センチ×110センチが一般的な規格で、プラスチック製や木製の製品は平均10キロ以上の重量があった。発泡スチロール製は同サイズで1.7キロしかなく、重量が5分の1以下となっている。放熱しやすいプラスチックパレットと異なり保冷や耐水の効果が高く、鮮度の維持が求められる生鮮食品の輸出に適している。



発泡スチロール製パレットの導入を進める（左から）琉球海運の高城勝太郎、県貿易協会の浦崎和也プロジェクトマネージャー、新垣旬子会長、OAS航空の井出淳太郎＝那覇市内（県貿易協会提供）

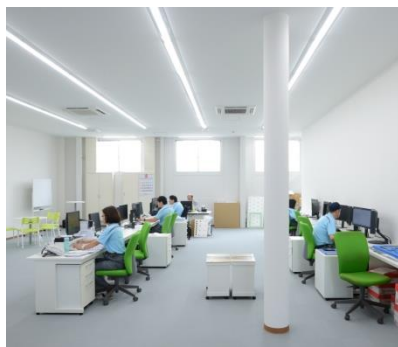
発泡パレットを利用した国際貨物輸送の取り組みは、沖縄日通エアカーゴサービス（OAS航空）と琉球海運の協力を得て実施した。

県内には発泡スチロール製パレットを生産する企業がなく、鹿児島から取り寄せる必要がある。パレットの輸送費が負担となるため、有用性が認識されながらも導入が進まなかった。今回は県貿易協会が荷主となることを条件に琉球海運が輸送を引き受ける。

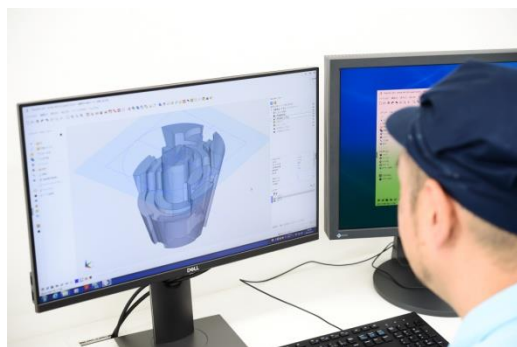
琉球海運が県内に運び入れたパレットを県貿易協会がOAS航空に引き渡す。OAS航空は荷主から引き受けた貨物をパレットに乗せ、ANAカーゴの国際物流事業などを利用して海外に輸送する。軽量のパレットの使用で輸送コストが抑えられれば、県産品の輸出拡大につながることも期待できる。

事業の導入に取り組んだ県貿易協会の浦崎和也プロジェクトマネージャーは「国際貨物輸送でコストを抑え、品質を保つ仕組みが導入された。海外輸出を目指す企業に活用してほしい」と話した。

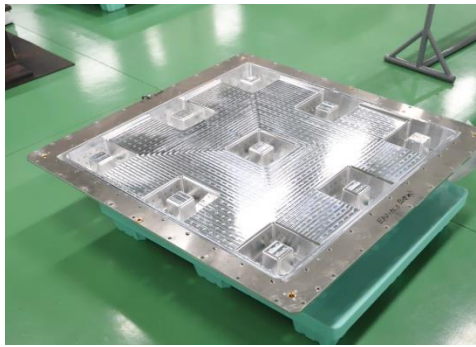
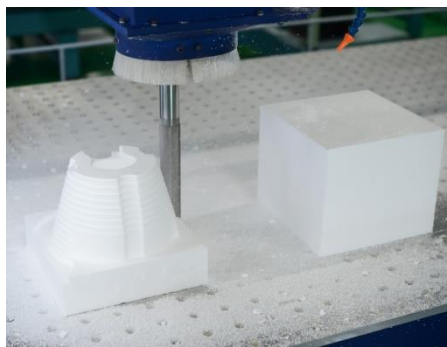
金型工場(設計から製作までワンストップ)



●金型工場(大阪府八尾市) 工場内には、広々とした設計室があり、工場スペースには切削機などが整然と配置されています。ここで、日々新しいアイデアが盛り込まれた金型が誕生しています。



●図面を作成する設計スタッフ。この図面をもとに試作モデル(3段目中央)を作成します。このモデルをもとに、ユーザーとともに運用テストを重ね、微調整を繰り返すことで、完成度の高い金型が仕上げられています。



●試作モデルを製作するNC切削機。図面をもとに24時間体制で製作します。(右端) 完成したパレットの金型。

▶ユーザー様との製品開発テスト

●JA静岡経済連様とのボーイング737-800専用パレット開発テスト



●輸出用のいちごの飛行機輸送テスト。ハブ空港までの輸送をトラックから飛行機への切替を計画。目的は、振動による製品ダメージの軽減。輸送機となる『ボーイング737-800』機の貨物室にピッタリ収まるサイズのパレットを製作し、テストを実施。当社では、お客様と一緒に製品開発を行うことを大切にしています。

R&Dセンター(EPSに特化した開発拠点)

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

R&Dセンターは、発泡スチロールの安定した品質と安全性の向上を追求するため、強度検査機・保冷（保温）効果測定器・ガスクロマトグラフや蛍光X線分析機器、発泡スチロールセル（気泡）の状況観察のための顕微鏡など先端の機器を設置し様々な試験・検査を行っています。また、これらの結果をもとに、お客様のご要望に最適な製品をご提案します。

●ガスクロマトグラフ



●強度測定器



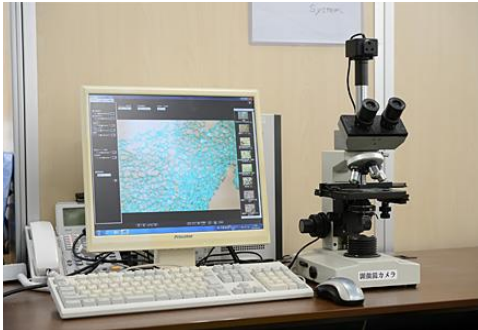
●環境温度対応システム



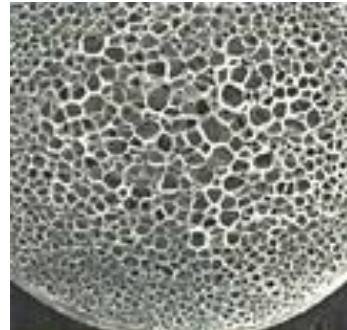
●蛍光X線分析装置



●顕微鏡



▼EPS拡大写真



▶試験の様子

●輸送用「たまごケース」の落下試験～EPS容器に卵を詰め、150cmの高さから落下させ、割れ場所など現象を観察します。



●ワクチン輸送容器の保冷試験～容器内に温度ロガーを設置し、想定される環境下での時間経過による温度変化を測定。



※テスト容器は試作段階の容器です。

EPSは“省プラスチック製品”

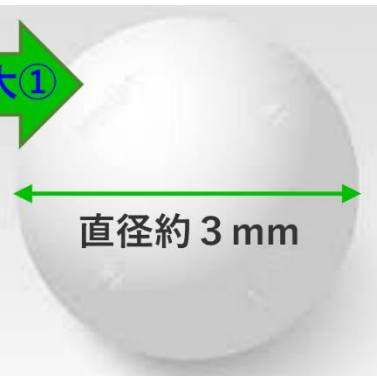
EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

▶原料ビーズについて…空気の特性を利用した発泡スチロール

- 発泡スチロールは、直径 1 mmの原料ビーズに約 4 万個の空気室を造ることで直径 3 mmの発泡ビーズとなります。次に、この発泡ビーズを金型で成型してEPS製品を創ります。

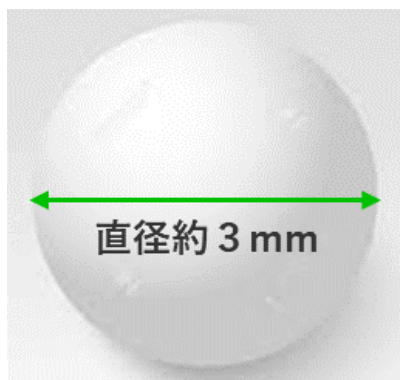


拡大①

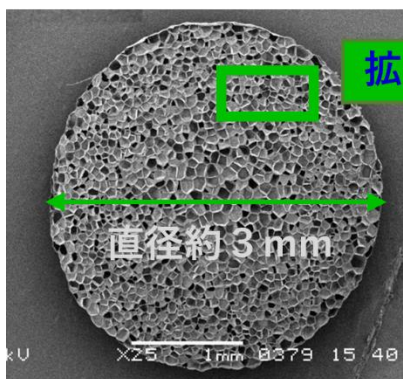


直径約 3 mm

- ▶原料ビーズ(左側)と4万個の空気室を直径約 3 ミリメートル内在させた発泡ビーズ(右側) ※発泡スチロール製品の粒子の1個を拡大したイメージ画像

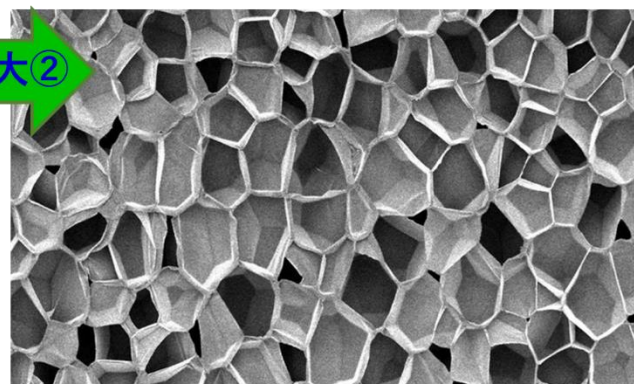


直径約 3 mm



直径約 3 mm

拡大②



- ▶拡大した粒子とその断面写真です。細かい空気室(独立気泡)で構成されていることがわかります。この直径 3 mmの球体の中には 4 万個もの空気室があり、それが発泡スチロール製品が“省プラ”であることの由縁です。

▶成型製品について…省プラスチック(省資源性)な発泡スチロール

- ▶発泡スチロール(EPS)製品とは「98%の空気を2%のプラスチックで閉じ込める」ことで形成された成型品です。つまり、発泡スチロールの特性とは、製品体積の98%を占める空気自体がもつ軽量・断熱性・緩衝性などの特性であり、発泡スチロールは「自然の“チカラ”を引き出す素材といえます。

< EPS原料 >
体積 ≒ 2,000cm³
重量 = 2 kg



< EPS50倍製品 >
体積 ≒ 100,000cm³
(体積 >> 50倍)
重量 = 2 kg



※1100×1100型EPSパレット
静荷重：2t 動荷重：500kg

EPSの特性と製品開発

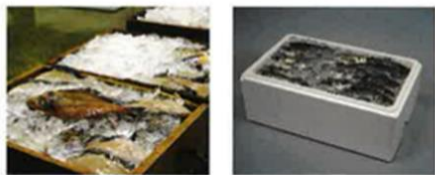
EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

▶発泡スチロールの7大特性

●発泡スチロールは2～3mm程度の粒子の中に約4万個の独立気泡を持つ素材です。この独立気泡が様々な機能を発揮します。

① 断熱性

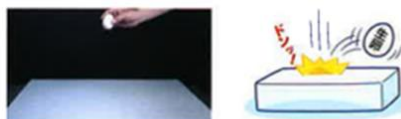
発泡ビーズの集合体で、各々のビーズは「小さな空気の部屋(独立気泡)」で構成されています。各気泡では空気の対流が少ないので熱が伝わりにくくなります。



木箱からEPS製になり鮮度保持したまま魚を運ぶことが出来るようになりました。

② 緩衝性

独立気泡は衝撃吸収性に優れ、家電製品や精密機器などの包装材・緩衝材として製品を衝撃からガードします。



AR 緩衝性実験の様子をご覧ください。

EPS製品の上に生卵を落としても、衝撃で割れることはありません。

③ 軽量性

製品の体積の98%が空気で構成されていますので、2%のポリスチレンの重量だけの重さとなります。

④ 省資源性

石油由来の原料2%のみという非常に省資源な素材です。

⑤ 耐久性

直射日光(紫外線)にさらされなければ半永久的に形状を保持することができます。全体で荷重を受けた場合は、1平米あたり5トン*の荷重を受け続けても問題はございません。2020年のEPS需要の中で、28.4%が1年以上使用される用途でした。

*50倍発泡EPSの許容圧縮応力度

⑥ リサイクル性

単一素材であり、熱を加えるだけで容易に再生原料(インゴット、ペレット化)として生まれ変わるリサイクル特性に優れた素材です。

⑦ 加工性

刃物や電熱線を利用し簡単に加工することができます。

▶EPS(発泡スチロール)の特性を活用した製品の紹介

【断熱性】

●スマートクーリングコンテナ



➡高い断熱性により、単一スペースに常温・冷凍・冷蔵の異なるゾーニングが可能

●EPSアグリハウス



➡寒冷地または寒冷期のハウス外への熱の移動を遮る地中断熱システムで加温燃費の削減が実現

【軽量性】

●EPSパレット



➡静荷重2,000kg、動荷重500kgの優れもの。しかも自重は約2kg

●EPSアグリボードシリーズ



➡水耕栽培用定植パネル(抗菌タイプ有)

【緩衝性】

●EPSクッションパレット



➡精密機器や美術品などの保管・輸送に最適、かつ人手で輸送できる“防振パレット”

●EPSたまごケース



➡たまご、完熟フルーツや野菜などをそのまま“輸送でき、用途が各種にわたるクッションBOX

トーホー工業の取り組み

EPS は発泡スチロール(Expanded Poly-Styrene)の略称です。

【1】SDGsの視点で考える“プラスチック問題”

SDGsは「環境」「社会」「経済」の3つの要素から成り立っています。
 “プラスチック問題”は、地球環境の問題であり、生活・社会環境の問題であり、
 経済活動の問題であると理解しています。



“プラスチック問題”とは

- プラスチックがなければ、私たちの生活は1日も成り立ちません。
 プラスチックは、ペットボトルや食品トレイのように生活に身近なものから、レンズ、光ファイバー、医療部材あるいは精密機器のパーツなど機能性プラスチックと、広範な分野で利用されています。EPS(発泡スチロール)も、様々な分野で活躍しています。
- 他方、プラスチックごみや海洋や湖沼にたどり着くマイクロプラスチックが地球規模での問題として焦点が当てられています。
- 『プラスチック問題』とは『プラスチック製品の使い捨て』の問題であると捉えられます。使い捨てられたプラスチックがごみとなり、環境汚染の原因となっています。私達は、このプラスチック問題を「プラスチック使用総量を減らす」こと、そして「使い捨てをしない仕組みを創る」ことで解決のドアが開かれると考えています。

【2】トーホー工業の『SDGs』の 2つの取り組みテーマ

トーホー工業は、発泡スチロールの特性

- ①「空気をカタチにする技術」 ②「省プラスチック製品」に加え、③高いリサイクル性を活用し、
 『EPS to EPS 循環型企業』を目指します。

【1】プラスチック使用量の総量削減を実現します。

<具体的な取り組み>

- ①世の中のできるモノすべてを“省プラスチック”素材の EPSで製品化し、提案していきます。
- ②EPSの素材の魅力を、開発した製品を通じて、世の中に伝えていきます。

【2】“EPS to EPS”発泡スチロール製品が循環する仕組みを創ります。

<具体的な取り組み>

- ①EPSの回生(Regeneration)技術を開発し、さらに回生EPS原料を使用した製品開発を行います。
 (当社名称 T-Reps/ティレップス)
- ②EPSアップグレード原料(リサイクルで物性を高度化した原料)を使用した製品の用途開発を行います。



▶ 製品・開発に関するお問い合わせは



発泡スチロールのパイオニア・カンパニー
トーホー工業株式会社
 TOHO INDUSTRIES CO.,LTD.

■ 事業開発本部

0120-707-226

大阪府八尾市北亀井町1-5-20

<http://www.toho-eps.com>